

令和7年度 学校評価

名張市立桔梗が丘東小学校

重点的な取組事項－1	互いに認め合える集団づくり・居場所づくり
A 今年度の成果目標	
<p>学習場面や体験活動、児童会活動において児童相互が認め合い、教師の肯定的な評価により児童の満足感、自己有用感を高める。</p> <p>【学校評価アンケート：「学校へ行くのが楽しい」「友だちのよいところを見つけることができる」と感じている児童の割合90%以上をめざす。</p> <p>「学校へ行くのが楽しい」 結果 90.8% 「友だちのよいところを見つけることができる」 結果 97.6%</p>	

重点的な取組事項－2	主体的・協働的に課題を解決する力 学習意欲の向上
A 今年度の成果目標	
<p>ペアやグループ学習など対話を通じた協働的な学習により児童が「主体的に学ぶ喜びを感じる授業づくりをめざす。</p> <p>【学校評価アンケート：「授業の内容がわかる」と回答する児童の割合90%をめざす 結果 92.3%</p>	

重点的な取組事項－3	家庭・地域と連携し信頼される地域とともにある学校づくり
A 今年度の成果目標	
<p>保護者、地域の代表からなる学校運営協議会での熟議を充実させ、育ってほしい子どもの姿や子どもの願いを共有し学校運営をすすめる。また児童の学習活動などホームページ等で発信し、保護者、地域への情報共有に努める。</p> <p>【学校評価アンケート：「学校は子どもたちが安心・安全に過ごせるよう地域との協働に努めている」と回答する割合90%以上をめざす】 結果 94.2%</p>	

【結果考察】

○重点的な取り組み事項1

<p>児童アンケートでは「学校へ行くのが楽しい」と感じている児童は90.8%であり、「友だちのよいところを見つけることができる」と回答した児童は97.6%であった。全国国学力・学習状況調査における児童質問紙では、「友だちとの関係に満足している」と感じている割合は93.1%であった。児童間のトラブルがあった場合は、丁寧に実態把握し、早期対応を図ってきた。家庭にも状況を早期に、そして丁寧に伝えることによって早期解決したことも多かった。保護者アンケートでも「クラスのことや分団のことなど気になることを相談したら、すぐに子どもの話を聞いて対応してくださり、子どもも親もとても安心できました。」という声をいただいている。児童集会や委員会活動など子どもたちの発案による取組を実施し、肯定的な評価を行うことで、日常の学校生活においても子どもたちの活躍の場を設定した。今後とも児童の課題に対して保護者とも連携し、早期対応に努めるとともに学級経営を見直し、児童が安心できる学級づくりを継続して「学校へ行くのが楽しい」と思える学校づくりを推進していく必要がある。</p>

○重点的な取り組み事項 2

児童アンケートでは、授業がよくわかると感じている児童の割合が92.3%となっており、先生は、わからないところを丁寧に教えてくれると感じている児童は95.7%となっていた。また保護者アンケートでは「学校は子どもが分からなかったことやできなかったことについて丁寧に指導している」と感じている保護者は昨年度より上昇し、89.3%であった。今年度、「対話を重視した授業」「交流を通して学ぶ授業」を目指す中で他人の意見を参考にしたり自分の考えを深めたりするなど、話し合う場面を意識的に設定し、全教員で授業研究を行ってきた。児童アンケート等から話し合う活動により自分の考えを深めることができた実感する児童が増えてきた。今後ともグループ学習やペア学習など積極的に取り入れることが必要である。

○重点的な取り組み事項 3

保護者アンケートでは「学校は、子どもたちが安心して安全に過ごせるよう、地域との協働に努めている」と回答した保護者の割合は、94.2%であった。また保護者に対し丁寧に対応しているとの回答が95.1%と昨年より上昇している。「家庭や地域との連携を深めるため、学校だよりやホームページなどで情報発信をしている」と感じている保護者の割合は98.1%となっている。市内のどの学校よりも子どもの様子がよくわかり、ホームページを楽しみに見ているという声もいただいている。保護者アンケートから、保護者の方々は、学校からの通信やホームページなどをよく見ていただいていることがうかがえる。今後も、伝えたいことを明確にして家庭に発信していきたい。学校運営協議会では開催ごとにその学期の行事や取組、子どもたちの成長の様子を画像も取り入れながら詳しく伝えるように心がけている。その結果、学校運営について幅広い視点から理解ある意見や示唆をいただけたことで、子どもたちの「学び」と「育ち」に関わる連携・協働した取組を進めることができた。今後も様々な機会 で情報発信をし、学校の現状を理解していただくことにつなげたい。

児童アンケート

※ 赤字は昨年度より上昇した項目。

学校へ行くのが楽しい。	90.8%
元気にあいさつができています。	85.5%
授業が、わかりやすい。	92.3%
先生の話や友達の発言をしっかり聞いている。	96.1%
学級では、自分の意見や思ったことが言える。	82.1%
友達のよいところをみつけることができています。	97.6%
友達と仲良くできるよう、「言葉づかい」や「話し方」に気を付けている。	93.7%
先生は、よいことをした時やがんばった時に、ほめてくれる。	94.2%
先生は、授業やテストで間違ったところやわからないところをていねいに教えてくれる。	95.7%

困ったときに相談できる先生がいる。	89.9%
学校のきまりを守っている。	92.8%
家庭学習(宿題や自主学習)は、毎日している。	83.6%
家で、本を読んでいる。	59.9%
ゲームやSNSなどをすることについて、おうちの人と約束をしている。また守っている。	77.3%
家の人に、学校の様子を話している。	86.0%
今年度の新しい質問項目	
将来の夢や目標がある。	85.0%
地域の人に授業や体験学習など、かかわってもらっている。	87.4%

保護者アンケート

【学校の教育活動について】

学校は、家庭や地域との連携を深めるため、学校だよりやホームページなどで情報発信をしている	98.1%
学校は、お互いを認め、高めあう学級づくりに努めている。	92.2%
学校は基礎基本の定着をはじめ、わかりやすい授業を行っている。	96.1%
学校は基本的な生活習慣の確立のため、適切な指導や授業規律に努めている。	97.1%
教職員は、子どもがわからなかったことについて丁寧に指導している。	89.3%
教職員は、保護者からの連絡等に丁寧に対応している。	95.1%
学校は子どもたちが安心して安全に過ごせるよう、地域との協働に努めている。	94.2%
教科担任制や小人数授業は学習理解や中学への進学に役立っている。 (5・6年生保護者)	86.7%

【家庭生活の様子について】

家庭での学習が習慣化している。	72.8%
家庭での生活習慣(早寝・早起き・朝ごはんなど)を大切にしている。	96.1%
子どもは学校へ楽しく行っている。	95.1%
子どもは、きちんと挨拶ができている。	88.3%

子どもは「あそびっくす in東小」など地域行事に積極的に参加している。	47.6%
SNS、ゲーム等について、子どもと約束をしている。また子どもは約束を守っている。	95.1%
子どもは読書をしている。	39.8%
普段から、子どもといろいろなことについて話をしている。	97.1%
学校生活を通して、子どもが成長したと感じる。	99.0%